

軟式野球大会実施細則

試合に関する注意事項

1. 試合開始予定時刻30分前には、スポーツ連盟専用のメンバー表4通を大会役員まで提出すること（前の試合が早く終わった場合は以降の試合の予定時刻を繰り上げて行う事があるので注意すること。）又、路上駐車はしないよう徹底して下さい。駐車禁止等での試合中断はしません。
2. 試合開始予定時刻までに出場できないチームは棄権とし、対戦相手チームの不戦勝（7-0）とする。両チームとも出場できない場合は、両チームとも不戦負けとする。
3. 試合中ベンチに入れる者は、責任者・監督・コーチ・マネージャー・スコアラー・選手を原則とする。
4. ユニホーム・キャップ・マーク・アンダーシャツ・ストッキング・ベルト等は同型同色のものを着用し、ユニホームの上下（上着とズボン）の番号も統一する。
5. 運動靴の使用は原則認めない。また試合中は正規のユニホーム着用者以外は、グラウンド内には立ち入りを禁ずる。なお、当該役員、審判員、に許可された者はこの限りではない。
6. 試合中に審判員およびプレイに関する個人攻撃または非スポーツマン的プレイや行動・暴言・野次・中傷も厳禁とする。
7. ストライク・ボール・アウト・セーフ・ファール等のジャジメントに関する抗議を厳禁とする。
8. 抗議は監督または主将と当該選手がルールの適用に関してのみ受付ける。
9. 審判員の指示に従わない場合は退場処分とする。
10. 当該選手が負傷等で治療が長引く場合は、臨時代走を認める。
11. 投手が手や手首に包帯・手袋・サポーターを使用することを原則として禁止する。
12. 試合中に生じた傷害や事故等については、本協議会は一切責任を負わない。

試合の時間短縮・安全性について

1. 試合開始挨拶時に後攻側チームの選手は、守備の用意をして整列すること。
2. ファウルボールは、打球方向のベンチ側チームが回収のうえ、審判員に手渡すこと。
3. 捕手は、J S B B規格のマスク・捕手用ヘルメット・プロテクター・レガースを必着のこととする。※ファウルカップの着用が望ましい。
4. 打者・走者はJ S B B規格のヘルメットを必着（チーム5個以上必要）とし、バットリング・鉄棒のグラウンドへの持ち込みは禁止する。
5. 用具は、J S B B規格の軟式野球用具を使用することとする。
6. 試合前後、試合中を問わず、グラウンド周辺での喫煙は指定場所以外では禁止する。
7. 試合中みだりにベンチから離れないこととし、必要物以外はベンチから出さないこと。
8. 攻守交替は素早く駆け足で行うこととする。
9. 特別グラウンドルールは試合に先立って当該審判員より発表があり、指示に従うこととする。
10. 勝者チームは試合終了後、グラウンド整備をすること。（審判員の指示に従うこと）
11. グラウンド外周辺でのキャッチボール、素振りは厳禁とする。
12. 試合終了後、ベンチのゴミは持ち帰ること。又、すみやかにベンチを空けることとする。次試合チームは前試合チームが完全に荷物等を出すまでベンチ入りを禁ずる。
- 13. 申告敬遠について今季から採用するので監督が審判に告げることで成立する。**

（補 則）

野球規則・協議会規約・軟式野球大会実施細則・実施要項の取り決め事項に違反した選手・チームは担当審判員・理事会の決定により退場・没収・出場停止処分をすることができる。

なお、参加チーム、選手はルール・マナー・モラルを励行のうえ、試合に臨むこととする。